

次田潤 じつ 國文學者。明治十七年四月二十一日岡山縣生れ、昭和四十二年四月九日歿（八十四）（九六）。第八高等學校を経て、明治四十二年東京帝國大學文學部國文學科卒。第一鹿兒島中學校、朝鮮釜山中學校教諭のち大正五年皇宮皇學館教授。更に第七高等學校造士館教授、佐賀高等學校教授を務め、十二年學習院教授、昭和七年第一高等學校教授、その後日本女子大學教授、立正大學教授歴任。長男次田眞幸、次男次田香澄も同學。

著書に、和漢英「三古事記神代卷」全二冊（校訂、昭和二年二月五日世界文庫刊行會「世界文庫」）、

「古事記・日本書紀研究 祝詞・宣命研究」（武田祐吉合著、昭和十

一年八月二十日新潮社「新潮文庫」）、『古代和歌』（昭和十二年十

一月八日河出書房「日本文學大系」）、『古事記・祝詞・宣命』（澤

瀧入孝・金子武雄合著、日本文學報國會編、昭和二十年一月十五日朝

日新聞社「國民文學全書」）、『改萬葉集新講』（卷一・昭和二十四

年六月十日河出書房）等。

